



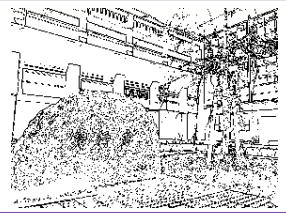
錦林小学校

NEWS LETTER

令和6年度2月
(アンケート結果)

京都市立錦林小学校

606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1
TEL : 075-771-0921
FAX : 075-771-3622
E-mail : kinrin-s@edu.city.kyoto.jp



子どものためのアンケート（2回目）結果のお知らせ

保護者の皆様には、「子どものためのアンケート」(12月実施)にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様や児童へのアンケートの結果、いただいたご意見、教職員の振り返りをふまえ、継続する取組や改善していくべきところを全教職員で共有し、保護者・地域の皆様と共に今後の錦林小学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

それぞれの質問の項目について、児童・保護者・教職員の立場で回答できるようにしています。質問の文言は多少異なりますが、同じことがらについて、3者（児童・保護者・教職員）の意識におけるずれの有無がわかるようにするためです。

【アンケート結果】

質問項目	児童	保護者	教職員
子ども一人一人を大切にした教育を進めている	96(±0)	97(-1)	100(±0)
授業が分かりやすい(確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている)	95(±0)	95(±0)	100(±0)
地域(自分が住んでいるまち)のことを調べたり、学習したりすることが好きである(地域の特色を生かした学びを進めている)	80(-1)	97(+2)	100(+3)
意欲的に学習に取り組んでいる	95(-1)	84(+1)	100(±0)
進んで本を読んでいる	80(+3)	59(-1)	97(±0)
宿題などの家庭学習に取り組んでいる	92(±0)	89(+2)	100(+3)
分からぬこと、困ったことなどを相談しやすい	82(-2)	92(±0)	100(±0)
楽しく登校できている	93(±0)	94(-1)	100(±0)
進んであいさつできている	90(+2)	79(+2)	97(±0)
人を大切にしている	98(±0)	95(-2)	100(±0)
自分のよいところやがんばっていることが言える(よさやがんばりを認め褒めている)	81(+3)	90(+1)	100(±0)
生活のルールを守っている	96(+1)	85(-2)	100(±0)
時間を守って生活できている	89(-2)	76(±0)	100(+7)
「すべきこと」「してはいけないこと」についてしっかり考え、適切に判断できている	93(-1)	87(±0)	100(±0)
がんばることを見つけて努力・挑戦している (「なりたい自分」「将来の夢」の実現に向けて努力している)	95(±0)	67(+2)	100(+3)

※「よくできている」「だいたいでできている」と肯定的に回答されている割合を「%」で表しています。

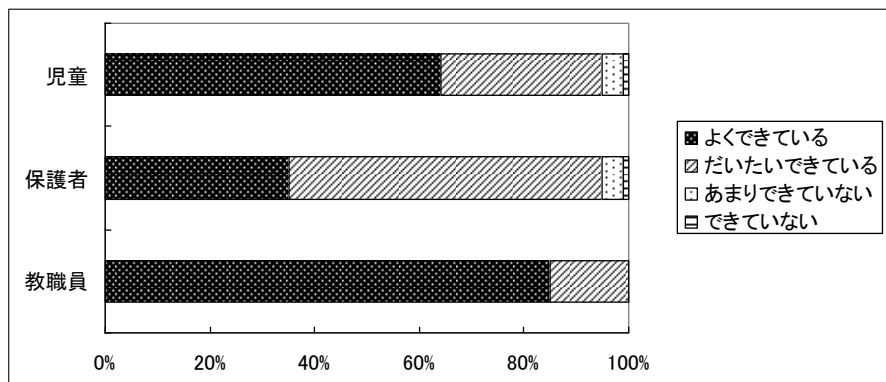
【アンケート結果の概要】

児童は学校でGIGA端末を活用して、教職員・保護者はQRコードを読み取っていただき、アンケートを実施しました。保護者の方からは、児童数533名に対して345件の回答をいただきました。約64%の回答率は、前回と同様の結果でした。

アンケート結果の概要を見てみると、全体的に肯定的な回答の割合が高い傾向にありました。特に、前回アンケート（7月）と比べて、「自分のよいところやがんばっていることが言える」や「がんばることを見つけて努力・挑戦している」などの学校教育目標（人との関わり・つながりの中で自分を高める実行力の育成）に大きくかかわる質問項目で、肯定的な回答が増加していたことがわかります。また、教職員の中で、「子ども達は時間を守って生活できている」ということについて、肯定的な回答が大きくなり増加していました。

今回のアンケート結果の中で、特に注目したい質問項目をいくつか取り上げ、お知らせさせていただきます。そして、これまでの取組の成果と課題を見直し、児童がいきいきと活動し、力をつけていけるよう努めてまいります。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

授業が分かりやすい（確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている）

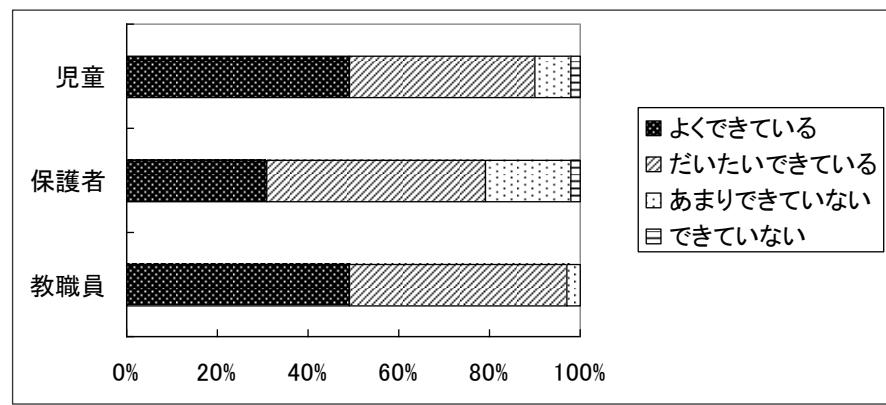


児童には「じゅぎょうがわかりやすいか」、保護者には「学校は確かな学力をつけるための教育を進めているか」、教職員には「確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めているか」というように質問しています。児童の回答は、前回アンケート同様に肯定的に回答した児童が95%となり、その内訳も変化はありませんでした。教職員の回答を見てみると、肯定的な回答は100%と変化はありませんでしたが、その内訳で「よくできている」が85%となり前回から24ポイント増加していました。

今年度は、これまで以上に1時間1時間の授業の質の充実が図れるように、学校全体で授業の準備や教材の研究、学習形態の工夫などに力を注いできました。また、普段からも交換授業（学年の担任が入れ替わって行う授業）を行ったり、高学年の専科教員による授業を行ったりと、たくさんの指導者が児童と関わることで、多面的に児童の様子を見られるようにしています。これらの取組から、教職員の「分かりやすい授業づくりに努めている」という意識が今まで以上に高まっているのだと考えられます。今後も、児童一人一人の学習進度や個性に目を向け、「全員に届く分かりやすい授業づくり」に努めています。



進んであいさつできている



今回のアンケートでは、児童・保護者ともに、肯定的に回答した割合が前回アンケートから2ポイント増加しました。

「にこにこあいさつDAY」では、あいさつする相手の名前を呼んでお互いに気持ちのよいあいさつができるように取り組みました。「錦林HAPPY大作戦」では、異学年の友達と一緒に、自分の好きなことや得意なことを伝え合うなど、たくさんの友達とコミュニケーションを楽しみました。校内では、普段からも児童同士や児童と教職員などの大人が、笑顔であいさつを交わす場面も多くみられます。

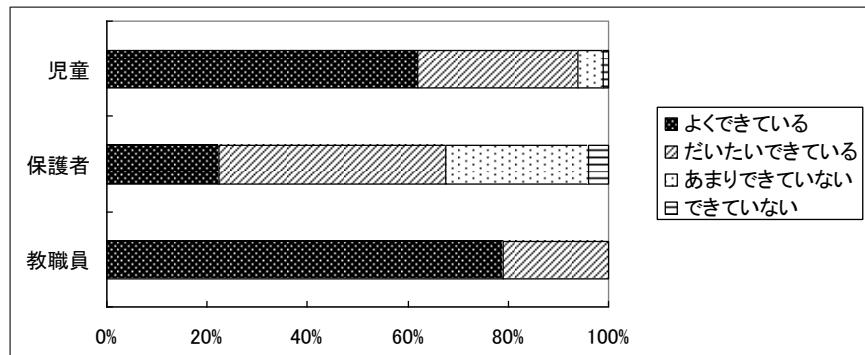
また、地域でもたくさんの方々が温かく見守り、あいさつをしてくださっていることが、子ども達が安心・安全に過ごせている要因になっています。今後も相手に伝わる気持ちのよいあいさつを通して、児童がたくさんの方々と人間関係を築いていけるよう、あいさつの取組を進めていきます。



がんばることを見つけて努力・挑戦している（「なりたい自分」「将来の夢」の実現に向けて努力している）

「よくできている」「だいたいできている」と回答している割合が、児童95%・保護者67%・教職員100%となりました。

学校では、「なりたい自分」「将来の夢」について、児童が「少し先の自分になりたい姿」をイメージし、その姿に向かって努力できるよう寄り添い、励ますことを大切にしています。



おにいさんがすきなところにつれていってくれてうれしかったです。わたしも大きくなったらやさしい6年生になりたいです。

（全校「動物園ラリー」後の1年生の感想より）

2年生がいろんなことをおしえてくれて、みんなうれしくなりました。わたしが2年生になったら、一人のこさず、えがおにさせたいです。

（生活科で2年生との交流した1年生の感想）



学校では、毎日の学校生活や帰りの会、生き方探究パスポートなどを通じて、児童一人一人が自分のがんばったことやよいところをふりかえり、「どんな自分になりたいかな」「なりたい自分に近づけたかな」とじっくりと考えられるように進めています。今後も、学校教育目標である「人との関わり・つながりの中で自分を高める 実行力の育成～なりたい自分に向かって考える・決める・実行する強さを育てる～」に向けて、教職員一同、取組を推進していきます。

【保護者（ご意見・ご感想の記入欄）より】

無記名・匿名でないと率直に答えにくい場合もあるかと思います。形だけのアンケートにはあまり意味がなく、せっかくの機会がもったいないと思います。

記名しにくい場合は、無記名にしてもかまいません。（どちらでも可能な設定になっております。）

ただし、「ご意見・ご感想」等の自由記述欄の内容によっては、記名がある方が学校から個別に相談しやすい場合もあります。記名がないにかかわらず、いただいたご意見をしっかりと受け止め、よりよい学校教育活動になるように生かしていくので、どうぞ遠慮なく率直なご意見をお伝えください。

大谷翔平選手からのグローブが地域団体に寄贈されてしまい、子ども達が使用できないのは残念です。

グローブは、校内の子ども達が使用できるようにしていますので、ご安心ください。

部活動が衰退しているのが気がかりです。小学生時に色々なスポーツをする機会が体育しかないので残念です。
色々なスポーツと触れ合うことで子どもの可能性が増えていくと思います。

部活動の在り方については、児童生徒のニーズの多様化や児童数や指導者の減少などにより、従来通りに活動を持続できないことが問題となっており、全国的な部活動改革（地域展開など）が進められています。錦林小学校でも、今年度はこれらの問題を考慮し、地域の方のご協力を得ながら、できる範囲で継続して活動できるようにしてきました。また、授業内に行う4～6年生のクラブ活動などでもスポーツ・文化芸術に親しむ場を設けられるように努めています。今後は「地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる」という考え方のもと、新しい活動の在り方を模索していくことが求められています。

放課後に学び以外にもっとわからない部分を聞ける環境を作ってほしい。先生の負担をなくすことが優先で子ども達には負担が増えている気がします。

教育の質を向上させるために、学校は、①児童が授業以外の多様な学びや活動を行う ②教員が授業準備や研究を行い、日々の授業や指導の質を向上させる ③児童や教職員の心身の健康を保持・増進させることが求められており、これらのことと総合的に踏まえて、子ども達の学びの環境を整える必要があります。特に①について、校内では、おもに朝活動や放課後の時間を用いて補充学習に取り組めるように進めているところです。

ご意見をいただいたように、子ども達にとって「わからない部分を聞ける環境がある」という安心感はとても大切なことですので、校内でも今の取組を積極的に見直しつつ改善に努めています。ご家庭でも引き続き「家庭学習スタンダード」を活用していただき、子ども達が主体的に学びを進められるように支援をよろしくお願ひします。

- ・担任の先生だけでなく、担任以外の先生方からもたくさん声をかけていただき、喜んでいます。
- ・授業が終わってからも、放課後に学習をよく見てもらっています。ありがとうございます。
- ・学習発表会の準備から発表まで経過を話してくれて、頑張っていたことや達成感が得られたことがうかがえました。一人一人へのサポートは大変だったと思いますが、このような機会をありがとうございました。
- ・小学生という大切な時期を確かな教育と温かい眼差しで見守っていただき、いつも心から感謝しています。
- ・運動会も学習発表会も感動しました。どちらももっと続きが見たい！と思いました。先生方に感謝です。
- ・子ども達は、生活面でも学習面でもよく頑張っていると感じます。先生方の適切な声かけや友達同士の関係の良さ、学習環境がよく考え整えられていることが関係しているのかなと思います。

この他にも、たくさんの励みになるようなご意見やご感想、また、改善していくべき点について回答をいただけております。いただいたご意見をもとに、学校運営協議会と連携を図りながら今後の学校教育活動に生かしていきます。アンケートへのご協力、ありがとうございました。